

臨時医療施設等確保計画（確保病床・確保居室いずれにも位置付けられない臨時の医療施設及び入院待機施設の計画）

令和3年12月24日公表

都道府県名	臨時医療施設等確保計画（一般フェーズ）												臨時医療施設等確保計画（緊急フェーズ）（※1）					
	フェーズ1		フェーズ2		フェーズ3		フェーズ4		フェーズ5		フェーズ6		緊急フェーズⅠ		緊急フェーズⅡ		緊急フェーズⅢ	
	定員数	移行基準	定員数	移行基準	定員数	移行基準	定員数	移行基準	定員数	移行基準	定員数	移行基準	定員数	移行基準	定員数	移行基準	定員数	移行基準
01 北海道	1,207	9,685	14(1施設)	フェーズ1の確保病床数の40～60%程度が使用された段階で、疫学調査の結果や地域での感染の発生状況を踏まえて判断	56(3施設)	フェーズ2の確保病床数の40～60%程度が使用された段階で、疫学調査の結果や地域での感染の発生状況を踏まえて判断							1,207	9,685	0(0施設)	フェーズ3の確保病床数の使用率60～80%程度が使用された段階で、疫学調査の結果や地域での感染の発生状況を踏まえて判断し、1ヵ所を臨時医療施設へ機能変更する（緊急フェーズでの確保病床に計上）		
02 青森県	139	1,131											139	1,131				
03 岩手県	86	574											86	574				
04 宮城県	360	2,772											360	2,772				
05 秋田県	72	438											72	438				
06 山形県	98	653											98	653				
07 福島県	138	1,000	0(0施設)	週当たり新規感染者数2.5人/10万人となった日	0(0施設)	週当たり新規感染者数5人/10万人となった日	21(3施設)						257	1,700	24(3施設)	週当たり新規感染者数15人/10万人となった日		
08 茨城県	170	1,343											319	2,522				
09 栃木県	339	2,070	0(3施設)	病床使用率がレベル2相当（20%以上）になった日	0(3施設)	病床使用率がレベル3相当（50%以上）になった日	0(3施設)						339	2,070	0(3施設)	病床使用率がレベル3相当（50%以上）になった日		
10 群馬県	367	2,856											367	2,856				
11 埼玉県	425	4,250	0(0施設)	一般フェーズでは開設しない	0(0施設)	一般フェーズでは開設しない	0(0施設)	一般フェーズでは開設しない	0(0施設)	一般フェーズでは開設しない	0(0施設)	一般フェーズでは開設しない	2,338	22,815	60(4施設)	病床使用率55%～		
12 千葉県	400	4,000	0(0施設)	国のレベルⅡ相当	0(0施設)								1,800	14,200	16(2施設)	国のレベルⅢ相当		
13 東京都	4,923	46,616	110(4施設)	新規陽性者500人以上(7日間平均)または増加比概ね120%以上が2週間継続	350(11施設)	新規陽性者700人以上(7日間平均)または増加比概ね120%以上が2週間継続	766(12施設)						4,923	46,616	766(12施設)	新規陽性者700人以上(7日間平均)または増加比概ね120%以上が2週間継続		
14 神奈川県	1,800	12,000	0(0施設)	フェーズ1の確保病床の85%を超えることが想定される3週間前の日	0(0施設)	フェーズ2の確保病床の85%を超えることが想定される3週間前の日	0(0施設)	フェーズ3の確保病床の85%を超えることが想定される3週間前の日	0(0施設)				2,878	18,438	24(1施設)	フェーズ4の確保病床の85%を超えることが想定される3週間前の日		
15 新潟県	191	1,523	0(0施設)	人口10万人当たり10人以上/週に新規陽性者発生かつ感染経路不明割合30%以上	0(0施設)	人口10万人当たり25人以上/週に新規陽性者発生かつ感染経路不明割合30%以上	10(1施設)						191	1,523	20(1施設)	緊急事態宣言		
16 富山県	80	532	0(3施設)	入院者数がおおよそ50人以上となった日から7日後（人数は目安であり、感染状況等を総合的に勘案して決定）	0(3施設)	入院者数がおおよそ100人以上となった日から7日後（人数は目安であり、感染状況等を総合的に勘案して決定）	0(3施設)						172	1,443	0(3施設)	入院者数がおおよそ300人以上となった日から7日後（人数は目安であり、感染状況等を総合的に勘案して決定）		
17 石川県	40	257	0(2施設)	病床確保計画のフェーズに連動	0(2施設)	病床確保計画のフェーズに連動	0(2施設)						120	1,221	0(2施設)	病床確保計画のフェーズに連動	0(2施設)	
18 福井県	54	373											109	627				
19 山梨県	150	1,046											150	1,046				
20 長野県	226	1,583											226	1,583				
21 岐阜県	384	2,861											384	2,861				
22 静岡県	680	5,500	75(3施設)	—	75(3施設)	予測ツールで3週間後の必要病床数が確保病床数に達する場合、または病床使用率が50%超の場合	75(3施設)						680	5,500	75(3施設)	予測ツールで3週間後の必要病床数が確保病床数に達する場合、または病床使用率が50%超の場合		
23 愛知県	530	8,330	0(0施設)	単日の入院患者456人以上	0(0施設)								2,339	22,083	20(1施設)	単日の入院患者833人以上	20(1施設)	単日の入院患者1,132人以上
24 三重県	100	600											515	3,170				
25 滋賀県	90	750											460	3,550				
26 京都府	679	5,990											679	5,990				
27 大阪府	3,833	39,702	0(0施設)	◆入院患者待機ステーション（大阪市内） 軽症中等症病床使用率がおよそ50%に至っていない場合（軽症中等症病床の病床確保計画フェーズ2相当） ◆入院患者待機ステーション（大阪府外） 救急がひっ迫状況に至っていない場合（各圏域の感染状況により早期運用あり）	0(0施設)	◆入院患者待機ステーション（大阪市内） 軽症中等症病床使用率がおよそ50%に至っていない場合（軽症中等症病床の病床確保計画フェーズ3相当） ◆入院患者待機ステーション（大阪府外） 救急がひっ迫状況に至っていない場合（各圏域の感染状況により早期運用あり）	0(0施設)	◆入院患者待機ステーション（大阪市内） 【第一入院患者待機ステーション】 軽症中等症病床使用率がおよそ50%を目途に運用に向けた最終的な準備を開始。その後、陽性者数、感染拡大見込みを見ながら、運用開始の判断をする。 【第二入院患者待機ステーション】 第一入院患者待機ステーションのベッド使用状況及び、感染状況を見て判断する。 ◆入院患者待機ステーション（大阪府外） 【豊能圏域】【南河内圏域】【泉州圏域】救急のひっ迫状況により運用開始の判断をする。（各圏域の感染状況により早期運用あり）	41(6施設)	◆入院患者待機ステーション 同上 ◆大阪コロナ大規模医療・療養センター（無症状・軽症患者用） 「宿泊療養施設の最大確保部屋数の使用率」がおよそ50%以上となり、約2週間が開設・運用開始 ◆大阪コロナ大規模医療・療養センター（中等症患者用） 「軽症中等症病床の最大確保部屋数の使用率」がおよそ70%以上となり、入院待機ステーション（大阪市30床）のオーバーフロー、陽性者数、感染拡大見込み、軽症中等症病床の使用率などの状況を踏まえ、運用開始を判断	1041(7施設)	◆入院患者待機ステーション 同上 ◆大阪コロナ大規模医療・療養センター（無症状・軽症患者用） 「宿泊療養施設の最大確保部屋数の使用率」がおよそ50%以上となり、約2週間が開設・運用開始 ◆大阪コロナ大規模医療・療養センター（中等症患者用） 「軽症中等症病床の最大確保部屋数の使用率」がおよそ70%以上となり、入院待機ステーション（大阪市30床）のオーバーフロー、陽性者数、感染拡大見込み、軽症中等症病床の使用率などの状況を踏まえ、運用開始を判断	3,833	39,702	1041(7施設)			
28 兵庫県	1,088	7,897											1,088	7,897				
29 奈良県	227	1,734	0(0施設)	病床確保計画のフェーズに準拠	0(0施設)	病床確保計画のフェーズに準拠	0(0施設)						227	1,734	10(1施設)	病床確保計画のフェーズに準拠		
30 和歌山県	104	777	0(0施設)	国内外の状況を総合的に判断	0(0施設)	基準日（週当たり新規感染者数15人/10万人）等、総合的に判断	178(2施設)						104	777	178(2施設)	基準日（週当たり新規感染者数15人/10万人）等、総合的に判断		
31 鳥取県	47	325	0(2施設)										47	325	0(2施設)	感染状況を総合的に判断して対応		
32 島根県	45	450											45	450				
33 岡山県	307	1,893	0(0施設)	直近1週間における新規感染者数が10万人当たり2.5人を超えたとき	0(0施設)	稼働病床が100床を超えたとき	5(1施設)						307	1,893	5(1施設)	稼働病床が200床を超えたとき		
34 広島県	111	903											358	3,091				
35 山口県	206	1,400	0(0施設)	一般医療との両立が前提となる通常時には、開設しない	0(0施設)	一般医療との両立が前提となる通常時には、開設しない	0(0施設)	一般医療との両立が前提となる通常時には、開設しない	0(0施設)				206	1,400	60(1施設)	感染者急増時の緊急的な患者対応方針に基づき、開設		
36 徳島県	77	605											77	605				
37 香川県	111	867											111	867				
38 愛媛県	90	655											153	1,110				
39 高知県	60	500	0(0施設)	フェーズ1の病床数の10%が利用された段階	0(0施設)	フェーズ2の病床数の20%が利用された段階	0(0施設)	フェーズ3の病床数の35%が利用された段階	0(0施設)	フェーズ4の病床数の45%が利用された段階	0(0施設)		127	851	32(1施設)	フェーズ5の病床数の60%が利用された段階		
40 福岡県	1,253	11,563	0(0施設)	国の新型コロナウイルス感染症対策分科会が示す「レベル3相当」となった場合	50(1施設)								1,253	11,563	50(1施設)			
41 佐賀県	182	1,322											182	1,322				

都道府県名	臨時医療施設等確保計画（一般フェーズ）												臨時医療施設等確保計画（緊急フェーズ）（※1）							
	臨時医療施設等確保計画（一般フェーズ）において想定する1日当たり最大新規感染者数（概数）	臨時医療施設等確保計画（一般フェーズ）において想定する1日当たり最大療養者数（概数）	フェーズ1 定員数	フェーズ2 移行基準 定員数		フェーズ3 移行基準 定員数		フェーズ4 移行基準 定員数		フェーズ5 移行基準 定員数		フェーズ6 移行基準 定員数		臨時医療施設等確保計画（緊急フェーズ）において想定する1日当たり最大新規感染者数（概数）	臨時医療施設等確保計画（緊急フェーズ）において想定する1日当たり最大療養者数（概数）	緊急フェーズⅠ 移行基準 定員数		緊急フェーズⅡ 移行基準 定員数		緊急フェーズⅢ 移行基準 定員数
42 長崎県	137	983											170	1,220						
43 熊本県	300	2,337											300	2,337						
44 大分県	215	1,463											215	1,463						
45 宮崎県	221	1,724											221	1,724						
46 鹿児島県	199	1,679	0(0施設)	フェーズ1の即応病床に対する3日間の病床使用率が30%以上に達した場合	0(0施設)	フェーズ2の即応病床に対する3日間の病床使用率が40%以上に達した場合	0(0施設)	フェーズ3の即応病床に対する3日間の病床使用率が50%以上に達した場合	10(1施設)				251	2,119	フェーズ4の病床使用率が60%以上に達した場合	10(1施設)	緊急対応フェーズⅠの病床使用率が70%以上に達した場合	10(1施設)		
47 沖縄県	262	1,656											809	6,744						
全国計（※2）	22,803	199,168	臨時医療施設等確保計画（一般フェーズ）	定員（計画）数	2,212(44施設)						臨時医療施設等確保計画（緊急フェーズ）	31,292	266,261	定員（計画）数		2,391(52施設)				

（※1）臨時医療施設等確保計画（緊急フェーズ）は、感染者急増時の緊急的な患者対応方針に基づく計画を指す。

（※2）全国計については、各自治体の一般フェーズ・緊急フェーズにおける各最終フェーズにおける数を合計している。